

和歌山県地域医療構想（御坊保健医療圏構想区域）

調整会議（第13回） 補足資料（資料概要）

【資料1について】

◆令和2年度病床機能報告（確定値）等について

- ・2025年の必要病床数は655床となっており、現状は695床（P7）
- ・医療機能別で見ると、急性期病床が過剰となっている（P7）
- ・非稼働病床の状況は、和歌山病院と北裏病院が1床、紀伊クリニックが2床を計上（P9）
- ・和歌山県の定量的な基準については、ほぼ基準を満たしている（P11）
- ・令和3年度の病床機能報告から、「稼働病床数」に替えて「最大使用病床数」「最小使用病床数」の報告を追加し（P13）、診療実績の報告対象期間を通年化する（P14）
また、新型コロナウイルス患者対応をしている病棟の報告を追加する（P14）

【資料2について】

◆和歌山県の地域医療構想アドバイザーについて

- ・任期満了に伴う再任の報告

【資料3について】

◆地域医療構想に関する国の動きについて

○地域医療構想

- ・各地域における検討・取組状況に関するさらなる把握、地域における協議・取組の促進策に関する検討、2025年以降を見据えた枠組みの在り方に関する検討を進める。

○医師偏在対策（医師確保計画）

- ・各都道府県における計画の策定状況や取組状況に関するさらなる把握、次期医師確保計画の策定（ガイドライン改定）に向けた検討を進める。

【資料4について】

◆外来医療計画（おさらい）及び外来機能報告制度（創設）について

- ・外来医療機能の偏在の是正及び外来医療提供体制の充実をはかるため、機能分化を進める。そのため、来年度から外来機能報告制度を創設する。
- ・重点外来基幹病院については地域の協議の場で実情を踏まえつつ検討する。

以上、よろしくお願い致します。